

事務事業チェックシート

事務事業No 706 事業名 第一特別展開催事業

[事業基本情報]

分野別目標	5	子どもが輝き、文化が薫る教育のまち
政策	4	文化・スポーツの振興
施策	1	文化遺産の保護・継承
基本方針	2	文化遺産の公開・活用

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計		一般会計	
	款		教育費	
	項		社会教育費	
	目		博物館費	
	大事業		博物館事業	
事項		第一特別展開催事業		

事業種別	継続	主な事務事業	○
事業期間		～	
事業実施の根拠法令			
関連個別計画			
担当課・担当課長 (Tel)	博物館	額田 雅裕(423-0003)	
関連課			

「3つの約束・44の約束」との関連性

3つの約束	産業を元気に	まちを元気に	人を元気に	非該当
			○	
44の約束	地元教育の推進			

1 事業概要及び実施内容

事業概要	事業目的（「誰・何」をどういう状態にする」ための事業か）	事業内容				
	和歌山に関して全国的に有名なテーマを設定し、貴重な博物館資料で展覧会を構成することによって、市民文化の向上に寄与する。	会期を展覧会シーズンである秋(10月～11月)に、公開日数を30日程度で設定し、展示資料を全国から借用して、展覧会を構成する。なお、和歌山市立博物館条例第4条に基づき、特別展開期中は入館料を改定する。				
実施内容		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
		和歌山市や海南市の市街地を走り長年親しまれてきた「市電」をテーマに「市電」に関する写真や資料を紹介し、「市電」が果たしてきた役割を考え、今後の交通体系のあるべき姿を模索する一助とするためにもその足跡を追う。	江戸時代の和歌山が、各観光地及び金比羅参詣等の主要経路として位置づけられていたことを検証するため、特別展「江戸時代を観光しよう」を開催する。	表千家歴代と紀州徳川家の交流を語るとともに、特に深い関わりをもった10代藩主徳川治宝の時代や数々の茶道具を生み出した紀州の御庭焼きにスポットを当てた展覧会を開催する。	和歌山に関して全国的に有名なテーマを設定し、貴重な博物館資料で展覧会を構成する	和歌山に関して全国的に有名なテーマを設定し、貴重な博物館資料で展覧会を構成する

2 事業コスト

事業費等 千円	事業費	平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度	
		当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算	計画	決算
	伸び率 (%)	4,695	4,348	4,694	4,638	4,955		4,955		4,955	
	人件費	-	-	0.0%		5.6%		0.0%		0.0%	
	常勤職員	5,793	7,294	7,294	5,993	5,993		5,993		5,993	
	非常勤職員	477	472	472	1,665	1,665		1,665		1,665	
	小計	6,270	7,766	7,766	7,658	7,658		7,658		7,658	
	国庫支出金										
	県支出金										
	市債										
	その他	804	760	804	370	1,156		1,156		1,156	
	一般財源(税等)	3,891	3,588	3,890	4,268	3,799		3,799		3,799	
所要人数	0.78	0.98	0.98	0.79	0.79		0.79		0.79		
非常勤職員	0.24	0.24	0.24	0.47	0.47		0.47		0.47		
主な予算内訳											

3 目標及び実績

活動指標	指標名及び達成状況				平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	第一特別展開館日数				年度目標値	33	33	32	32
					実績値	37	32		
	単位	日	全体目標値	33	全体目標達成度	112.1%	97.0%		
					年度目標値				
					実績値				
成果指標	第一特別展入館者数				年度目標値	2,200	2,200	2,200	2,200
					実績値	3,093	1,509		
	単位	人	全体目標値	2,200	全体目標達成度	140.5%	68.6%		
					年度目標値				
					実績値				
	単位		全体目標値		全体目標達成度				

#### 4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か		現行の手段でよい	○	一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している(90%以上)	○	おおむね達成(70~90%未満)	達成していない(70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある		一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか		できない	○	制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない	見直しが必要

#### 5 今後の方向性（担当課評価）

事業内容の方向性	充実				
	現状維持			○	
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	郷土出身の誇るべき偉人・先人の業績を展覧会を通して広く市民に公開することにより、市民の意識レベルの向上と強いては教育環境の向上にも繋がると考える。
「見直し」 「改善」案	アンケート調査により、市民のニーズをとらえ、展覧会テーマの設定に反映させる。